



## 新入・転入研修会・交流会

平成30年9月7日（金）にホテル京阪京都にて新入・転入研修会・交流会を開催いたしました。研修会には72名、交流会には74名の方にご参加いただき盛会を収めました。



日臨技の理事でもある京臨技の白波瀬会長より、来年度の法改正により臨床検査技師を取り巻く環境がどのように変わるのかを解説され、臨床検査技師に期待されることを熱く語られました。

また京臨技総務部長の佐藤理事より京臨技のしくみやホームページの活用方法などを説明されました。

交流会では食事とお酒を頂きながらのチーム対抗クイズ大会。

林副会長の軽妙な司会でユニークなクイズに会場は大いに盛り上がりました。

クイズの中で各研究班の紹介とPRを行うという、楽しみながら学べる一石二鳥な企画が恒例となりました。

12研究班のうち、今年一番最初に名前が挙がり認知度が高かったのはどこだったでしょう？

答えは今年参加された方に聞いてみてください(^\_-)☆



# 新入会員の声



洛和会丸太町病院  
前川 紗貴子技師 (写真 右端)

私が臨床検査技師を目指したのは高校生の時でした。専門学校の人に病院で働きたいと思い、念願の病院に就職することができました。患者さんとお話しすることは楽しく、そこから多くのことを学んでいます。職場の先輩から「日々勉強だよ。」と聞いています。職場の先輩の方々や患者さんともに働き、いろんなことを勉強していきたいと思います。

宇治徳洲会病院  
泰田 和寛技師  
(写真 左端)

今回の懇親会に参加するまで技師会は、まじめで気難しく、近寄りにくい方々が多いのではないかと考えていました。しかし、今回の懇親会ではフレンドリーで気さくな方々ばかりで、研修会などに参加しやすくなりました。多くの研修会に参加し勉強して、同期に負けぬように頑張っていきたいと思えます。

京都市立病院  
溝口 優太技師  
(写真 中央左)

今回の研修会・懇親会に参加して京都府臨床検査技師会がどのような活動をしているのか、また各研究班の活動内容を知ることができました。今後、積極的に技師会活動に参加し、確かな技術と知識を身に着けるために頑張っていきたいと思えます。

京都第二赤十字病院  
北村 友梨技師  
(写真 中央右)

懇親会では各研究班の活動内容を知ることができました。いろんな研究班の研修会に足を運んで勉強させていただきたいと思っています。私は予防医学に興味があり、予防医学にも貢献できる臨床検査技師になりたいです。これから幅広い視野をもって、いっぱい勉強をして患者さんの役に立っていきたくです。



## 世界糖尿病デー

11月14日は世界糖尿病デー

この日は東寺を含め数か所でブルーライトアップされた風景を見ることができます。

H28年の調査では、「糖尿病が強く疑われる者」は約1,000万人、また、「糖尿病の可能性を否定できない者」も約1,000万人と推計されています。

このような状況を踏まえ、国際連合（国連）は、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけました。ぜひ皆さまも世界糖尿病デーのイベントに参加して、ご自分やご家族、大切な人とともに、糖尿病について考え、予防にむけた一歩を踏み出していきたいと思います。



## 編集後記

台風シーズンになると暴風雨の中でいかに雨風が強いかを訴えるテレビ中継がよくあります。京都市内に住んでいるとテレビで見ると被害に見舞われることはあまりなく、不謹慎ながらどこか実感が湧いていないところがありました。9月の台風で初の長時間停電を経験しました。エアコンがつかず暑い、冷凍庫の物がアイスで全滅、懐中電灯とともに家族がゾロゾロついてまわり煩わしい、オール電化のため温度調節できずシャワーが水、等々。翌日から海外旅行に行くはずだった家族は関空が使えず他の空港への振り替えもできず断念。被害と呼ぶにはあまりにも小さな我が家の被害でした。（さ）

発行所 (一社)京都府臨床検査技師会

発行責任者・編集者：白波瀬 浩幸

編集者：齊藤祐巳子 佐藤晴久 山田雅

〒606-8395 京都市左京区東丸太町9-1 マンパワービル3F

TEL・FAX 075-752-5090

<http://plaza.umin.ac.jp/kamt/>

会員専用ページ：ID kamt PW kyoringi

ご意見等は、京臨技ホームページのトップページ最下部「お問合せ」ボタンから